

# 音声ソフトウェアのインストールで Java エラー または「Windows Error 3」が発生する

Document ID: 91679

Updated: 2007 年 7 月 5 日

 [PDF のダウンロード](#)

[印刷](#)

[フィードバック](#)

## 関連製品

- [Cisco Unified Call Services \(ユニバーサル版\)](#)
- [Cisco Unified Call Studio](#)

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[関連情報](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

## 概要

このドキュメントでは、複数の Java がインストールされたマシンの特定の問題を解決できる特定の Java インストールを使用するために audium.exe を強制する方法について説明します。

## 前提条件

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、Cisco Unified Call Services, Universal Edition、および Cisco Unified Call Studio, Universal Edition に基づいています。

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 背景説明

症状：ユーザは Windows を使用します。音声ソフトウェアのインストールのエラー表示、たとえば、audium.exe が Java 問題を示唆する別のインストーラ。1つのそのようなエラーメッセージはこれです：

Windows error 3 occurred while loading the Java VM

解決策：音声 インストーラはデフォルトよりもむしろ特定の Java インストールを使用するために強制することができます。これを使うと、サポートされた Java バージョンを使用することを確かめる場合もあります。次の手順に従います。

1. 開いて下さいコンソールを、たとえば、**Start > Run... -> cmd**。
2. インストーラ ファイルの位置へのナビゲート。
3. 望ましい java.exe にフル パスに、たとえば先行している実行して下さい、LAX\_VM オプションとインストーラを `audium.exe LAX_VM "C:\Program Files\Java\j2re1.4.2_08\bin\java.exe"`

## 関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

このドキュメントは有用でしたか。 [はい いいえ](#)

フィードバックいただき、ありがとうございました。

[サポート ケースのオープン](#) ( [シスコ サービス契約< ts generic='1' nval='P%1,2%%'が必要ですよ](#) )。

## Cisco サポート コミュニティ - 特集対話

[Cisco サポート コミュニティ](#)では、フォーラムに参加して情報交換することができます。

このドキュメントで使用されている表記法の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Updated: 2007 年 7 月 5 日

Document ID: 91679